

2016.11.10 院内学習会 カジノ解禁について考える

九州弁護士会連合会定期大会シンポジウム
(2016年9月23日)

ギャンブル依存症のない社会をめざして
推計536万人の衝撃～いま私たちにできること～
取り組みと宣言採択のご報告

弁護士 成見暁子
(宮崎県弁護士会副会長・九州弁護士会連合会理事)

2014年8月 厚労省研究班の発表

(研究代表者:樋口進・久里浜医療センター院長)

パチンコ・競馬などギャンブル依存の人が

日本成人人口の4.8%、536万人と推計

(男性8.7%、女性1.8%)



比較: 米国(02年) 1.58%

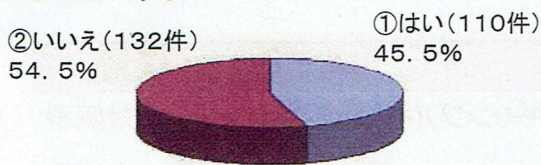
香港(01年) 1.8%

韓国(06年) 0.8%

九州弁護士会連合会管内の
会員アンケート(242通の回答)

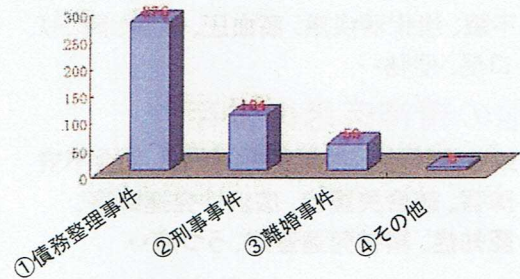
質問1

過去10年間において、当事者がギャンブル依存症に罹患していると疑われる人の事件を取り扱ったことがあるか



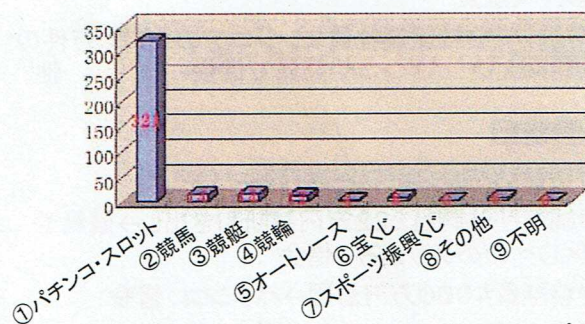
質問2

取り扱った事件のうちギャンブル依存症が関係する事件の種類(複数回答可)



質問3(4)

ギャンブルの種類



ギャンブル依存症は病気である

●「精神疾患の診断と統計マニュアル」

DSM-5 (米国精神医学会刊行)

ギャンブル障害 (Gambling Disorder)

●「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」

ICD-10 WHO(世界保健機構)発行

病的賭博 (Pathological Gambling)

第1段階 一時的気晴らし段階

娯楽として金や時間をコントロールできている

第2段階 問題ギャンブラー段階

ギャンブルに関連する問題を抱えるが
診断基準は満たさない

第3段階
ギャンブル障害・病的賭博段階

診断基準を満たす



ギャンブル依存症の症状

- ①ギャンブルに対する渴望(強烈な欲求)
- ②ギャンブルに対するコントロールの
困難・喪失
- ③ギャンブルへのとらわれ(ギャンブル以外への
興味関心の低下)
- ④心理・社会的状態の進行性の悪化
- ⑤離脱症状

- 嘘をつく...人格に問題が生じる
- 身体的症状...健康状態の悪化
:不眠、消化器疾患、高血圧、頭痛、肩こり、
口渇、便秘..
- 他の精神疾患の併存
:気分変調症、双極性感情障害、社会不安
障害、統合失調症、広汎性発達障害、
認知症、精神発達遅滞、うつ病..

自殺と非常に高い相関関係

自殺をしたいと思ったことがある

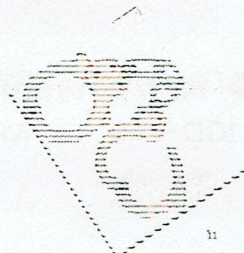
ギャンブル依存症群	対照群
62.1%	14.5%

自殺を計画したことがある

ギャンブル依存症群	対照群
40.5%	1.8%

- 周囲への影響
配偶者や子ども、家族、友人に対し
社会的、感情的、経済的に
大きなダメージ

- 違法行為、犯罪



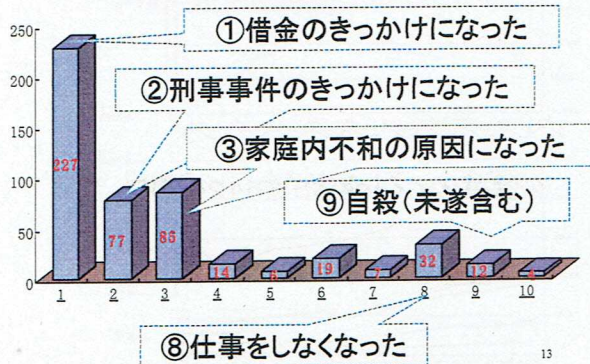
宮崎県外

- 製紙会社会長の特別背任事件:総額105億円を
カジノで浪費
- 通信教育会社派遣社員エンジニアの2070万件の
情報漏えい:パチンコや競馬で借金 他

宮崎県内

- 町職員の50万余円公金着服→パチンコ
- 県関連団体職員222万円無断引き出し→競馬や
宝くじへののめり込み、借金
- 農協職員4000万円着服→パチンコ、借金
- 信金金庫職員1433万円着服→パチンコ等 他

質問3(7)ギャンブルが当事者に対して与えた影響(複数回答可)



ギャンブル依存症は病気である

学歴や幼少期の環境などにかかわらない



誰にでも生じうる疾患

ギャンブル依存症の機序・要因についての医学的知見が重ねられてきている



- * 脳科学的機序
- * 環境要因1～身近なギャンブル環境 (物理的・心理的接近性)
- * 環境要因2～容易に借金が可能であること
- * その他
 - ・青少年のうちに関わる
 - ・ギャンブルによる報酬を得るまで短い
 - ・射幸性が高い

ギャンブル依存症は「治癒」しない

ギャンブル依存症は「回復」する

情報提供窓口

- ・ 精神保健福祉センター(各県)
 - 無料相談、カウンセリング、医療機関紹介
- ・ GA(ギャンブラーズ・アノニマス)
 - 依存症者の自助グループ
- ・ ギャマノン(GAM-ANON)
 - 依存症者家族の自助グループ

しかし日本の社会では・・・

ギャンブルをやめられない人たち (ギャンブル依存症の人たち)



- ・ 意志の弱い人たち
- ・ お金にだらしない人たち

非難

偏見

自己責任

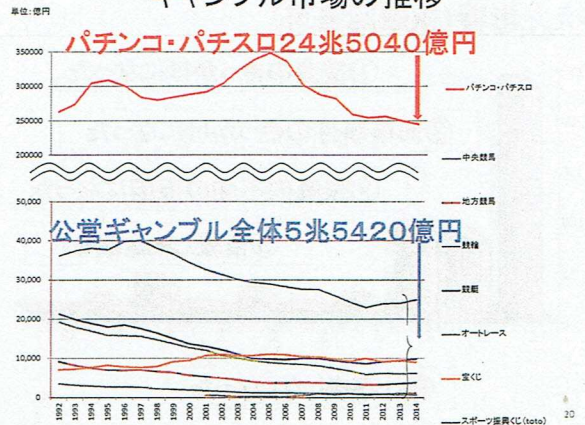
ギャンブル産業の現状

<対象>

- パチンコ・パチスロ
- 公営ギャンブル
(競馬・競艇・競輪・オートレース
宝くじ・スポーツ振興くじ[toto])

19

ギャンブル市場の推移



20

都道府県別パチンコ等台数 (2014年)

<全国1位> **宮崎県** (5761台/人口10万人)

- 2位 鹿児島県
- 3位 大分県
- 7位 長崎県
- 9位 熊本県
- 13位 佐賀県
- 22位 福岡県

21

広告

- TV・ラジオCM、新聞・雑誌、インターネット
- 人気アニメやドラマ等とタイアップしたパチンコ・パチスロ機
- 人気タレントを起用したCM



アクセス

- 場外券売場(競馬・競輪・オートレース・競艇)
- 宝くじ売り場・商店・コンビニ販売
- インターネット購入(投票券、宝くじ・toto)



広告・利用者拡大への取り組み

充実



ギャンブル依存症対策

業界としての実効的な対策なし

特に公営ギャンブルについては、
対策らしきものは見当たらず

24

国(各担当部署)に対し
ギャンブル依存症対策のアンケート実施

* 総務省・自治財政局地方債課の回答

宝くじはギャンブルとは異なる
娯楽であるため、
回答は差し控えさせて
いただきます。(…以下白紙)

25

ギャンブル依存症に対する
予防教育についてのアンケート調査
文部科学省

●平成28年度新規事業

「依存症予防教育推進事業」

喫煙・薬物・飲酒・インターネット・ギャンブル等包括的な予防教育

→ギャンブル依存症に特化した事業でない

●現在の学校教育での指導

→節度を守ること、自覚ある消費行動等

26

ギャンブル依存症に対する
予防教育についてのアンケート調査
宮崎県教育庁

Q 県内の学校でのギャンブル予防教育

「把握していない」

Q ギャンブル依存症教育は充実させるべきか

「どちらともいえない」「ギャンブル依存症に特化した教育については、学習指導要領に位置づいていないことから、学習内容としては取り扱っていない」

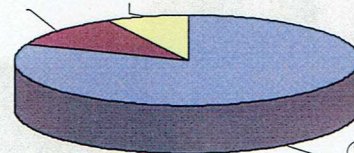
27

質問4(1)

国によるギャンブル依存症対策は必要か

②不要である
(27件)
11.5%

③その他(18件)
7.7%



①必要である
(190件)
80.9%

28

海外視察調査

シンガポール調査

2016年4月6日(水)~4月10日(日)

韓国調査

2016年4月22日(金)~4月24日(日)



One Hope Center
入口



エグゼクティブディレクターからのヒアリング

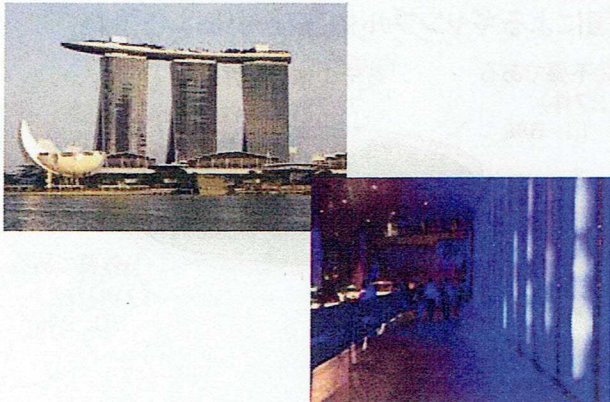


NCPG (National Council on Problem Gambling)

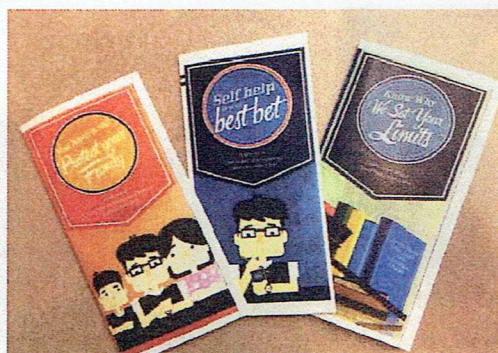
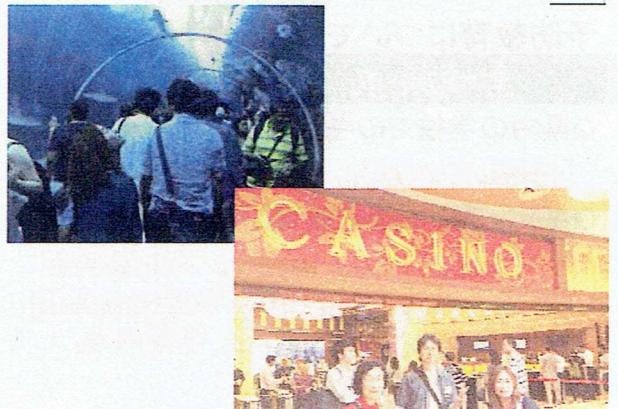


NCPG ヒアリング風景

マリーナ・ベイ・サンズ



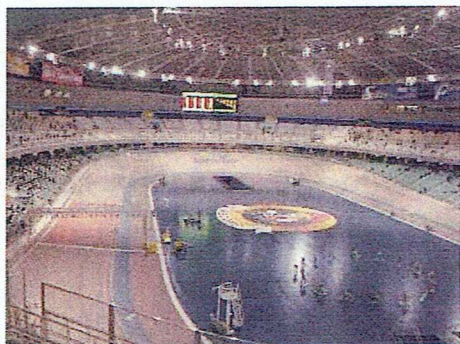
リゾートワールド セントーサ



シンガポール 啓発・手続説明パンフレット



ユーキャンセンター(馬事会内)にて



光明競輪場
競輪競艇中毒予防センターもこの建物内にある



賭博問題管理センター



セブンラックカジノソウルヒルトン店



江原ランド








江原ランド依存症管理センター(KLACC)







古汗舎北南面新東地域再生委員会
(住民組織)でのヒアリング風景

海外の法規制





①統一的な監督官庁の存在

-  韓国 : 射幸産業統合監督委員会
-  シンガポール : カジノ規制庁
-  オーストラリア : 法務省
: ビクトリア州ギャンブル・アルコール規制委員会
-  ノルウェー : ノルウェーゲーミング委員会
-  アメリカ : ニュージャージー・カジノ管理委員会

②総量規制・利用制限

-  韓国 : 射幸産業全体の総売上高を年間GDPの0.58%以内に
江原ランド 入場回数3か月30回超→カウンセリング
1か月15回超→入場禁止措置
-  シンガポール : カジノ入場制限・入場回数制限
-  オーストラリア : 入場制限
-  ノルウェー : 1日及び1か月の使用金額上限の定めあり
1時間のプレイ後、一定時間の休憩 等

③広告規制

-  シンガポール : 全面的広告禁止
 -  オーストラリア : 全面的広告禁止
 -  韓国 : 広告制限あり
 -  アメリカ : 民間団体AGAによる基準
(AmericaGamingAssociation)
- * 世界宝くじ協会*
青少年保護、ギャンブル依存症の観点からの
時・場所・方法による規制

④その他のギャンブル依存症対策

- #### 「責任あるギャンブル」政策 (Responsible Gambling)
- 事業者ないし従業員に対する免許・登録制を通じての規制(従業員教育を含む)
 - ヘルプラインの設置・治療機関の設置
 - ギャンブル依存症のリスクに関する広報
 - 青少年教育 など
- ➡費用を事業者の売上から負担させる

・・・しかし、いずれの国でも、ギャンブル依存症はなくなり、一定数の深刻なギャンブル依存症者を常に生み出し続けている。

日本国内の法規制

~~賭博~~ 富くじ

刑罰でギャンブルを禁止
(刑法185条～187条)

「健康で文化的な社会の基礎を成す勤労の美風を害するばかりでなく、副次的犯罪を誘発し国民経済の機能に重大な障害を与える恐れすらある。」
(最大判昭和25. 11. 22)

- 競馬(競馬法) →農林水産省
- 競輪(自転車競技法) →経済産業省
- 競艇(モーターボート競走法) →国土交通省
- オートレース(小型自動車競走法) →経済産業省
- 宝くじ(当せん金付証票法) →総務省
- スポーツ振興くじ
(スポーツ振興投票の実施等に関する法律) →文部科学省
- パチンコ、パチスロ(風営法) →警察庁

➡ 統一した監督官庁がない

規制内容

- 総量規制: なし
- 利用制限: 購入金額、回数 なし
- 広告規制: 特になし
- ギャンブル依存症対策: 特になし
- 青少年保護: 十分な手段とられていない

➡ 国を挙げてのギャンブル依存症対策・姿勢が何もない

ギャンブル依存症発症の危険性のある‘ギャンブル’というサービス商品が、その危険性について何の警告もなく身近に提供され続け、これによりギャンブル依存症に罹患することは

➡消費者被害

その結果、家庭や仕事、資産、人間関係、ときには命まで失う

➡国民の人権・権利が侵害され続けている

日本社会が負うダメージ・喪失も深刻
早急な対応が必要

院内学習会 カジノ解禁について考える

ギャンブル依存症のない
社会をめざす宣言
(満場一致で採択)

国に対して求める施策

①実態把握・調査研究

ギャンブル依存症が精神疾患であり、ギャンブルを繰り返すことにより誰でもギャンブル依存症に罹患する可能性があることを十分に認識し、早急に被害実態の把握を行い、その発生機序や原因等を調査研究し、結果を国民に公表すること

②相談窓口・治療

すでにギャンブル依存症に罹患し苦しむ依存症者や家族を放置せず、利用しやすい相談窓口を設け、早期発見、ケア、治療に結び付ける実効性ある体制を整備するなど、ギャンブル依存症者や家族を救済する対策をとること

③ 予防教育や広報・偏見の除去

全国民、とりわけ青少年に対し、ギャンブル依存症の危険性を正しく伝える予防教育を行うとともに、ギャンブル依存は自己責任の問題であるとする偏見を除去するよう努めること

④ 法整備、広告規制・アクセス制限

競馬、競輪、競艇、オートレース、パチンコ・パチスロ、宝くじ、スポーツ振興くじの全てが、依存症を発症しうるギャンブルに該当することを正しく理解し、適切な法規制を行い、ギャンブルに関する街中の看板やテレビコマーシャル等の広告を制限し、国民が各ギャンブルに対し容易にアクセスできなくする方策をとること

⑤ ギャンブル推進政策の見直し ・利用者拡大促進の中止

財政の健全化や税収をギャンブルに求めようとする政策を見直し、ギャンブル利用者の拡大促進をやめること

⑥ ギャンブル依存症対策基本法

ギャンブル依存症を予防し、ギャンブル依存症者を救済するための施策を総合的かつ計画的に推進し、ギャンブル依存症のない社会を実現するため、その基本理念を定め、施策の基本となる事項を定めるギャンブル依存症対策基本法を制定すること

⑦ カジノ導入の見合わせ

こうした各ギャンブル依存症対策が十分とられていない現状においては、**カジノの導入を見合わせる**こと

2016. 11. 10 院内学習会 カジノ解禁について考える

ご清聴ありがとうございました。

<資料>

- 1 宣言「ギャンブル依存症のない社会をめざす宣言」
- 2 提案理由
- 3 新聞記事

